



2025年11月28日付 「2026年3月期 連結業績予想修正」 説明会

データセクション株式会社

2025年11月30日

証券コード：3905

- 1号案件のAIデータセンターサービス利用予定の大口顧客（以下「本顧客」）からの利用枠拡張の要望に伴い、開設計画を見直し、完了予定時期を2025年9月から2025年12月へと変更
- 本顧客からはサービス提供開始時期に関する柔軟な対応及び追加的なGPUサーバー利用枠の早期提供要請も受けており、パートナーと協力の上、本顧客に『TAIZA』を通じてAI計算リソースを提供し、2025年10月以降に月間売上約40億円を見込む
- 但し、パートナーとの利益配分のため、自社保有の計算リソース提供と比べ、利益率は低下
- 1号案件に続く案件及び見込みパイプライン拡大対応のための先行的な投資（前回公表時より約10億円程度増加）により、利益率は当初想定を下回る水準に

※2号案件や英国CUDO社含むM&Aなどによる収益は含まず。その他パイプラインについても合理的な数値の算出が可能となった段階で都度、業績予想を追加修正

(百万円)	修正 今期業績予想	2025年7月16日付今期業績予想			前期（2025年3月期）実績		
		金額	差分 (金額)	差分 (増減率)	金額	差分 (金額)	差分 (増減率)
売上高	34,810	16,419	+18,390	+112.0%	2,942	+31,867	+1,083.0%
営業利益	509	3,173	▲2,663	▲83.9%	▲496	+1,005	-
調整後EBITDA*	3,672	8,554	▲4,881	▲57.1%	▲169	+3,842	-
経常利益	178	2,511	▲2,333	▲92.9%	▲613	+792	-
親会社純利益	47	2,048	▲2,001	▲97.7%	▲654	+702	-
1株当たり純利益	1.60	92.70	-	-	▲37.40	-	-

(*) 調整後EBITDA：営業利益＋減価償却費＋無形固定資産償却費＋株式報酬費用＋M&A関連費用

今回の業績予想の修正開示において重要なのは、プロジェクトの契約拡大と、顧客パイプラインの更なる強化により、需要の加速及び中長期的な収益力の向上を示す中で、今期の売上見通しが2倍以上に上方修正されたこと。高成長のテック企業ではPSR（株価売上高倍率）が採用されるケースも多い

当社は急速な事業拡大フェーズにあり、先行投資が一時的に利益率を抑制する状況にあるが、これは業界全体で一般的

短期的な利益率への圧力：

1. クライアントの要望変更による収益認識の遅れ

主要なクライアントの1つからクラスター拡張の要請受領。このため収益の一部がずれ込み、短期的な影響が生じたものの、受注自体には変化なし。プロジェクトポートフォリオが拡大し続ける中で、単一のクライアントからの1プロジェクトの影響は時間とともに縮小

2. 投資が本格化する2つの大規模プロジェクト

パイプラインの示している通り、現在オーストラリアとアジアの2つの大規模プロジェクトを含む、高品質で大規模な案件を確保。これら案件獲得・進捗のための先行投資は、足元の収益性を押し下げる結果となった。一方で、2026年における更なる収益上方修正の基盤となり、長期的な成長性を一層強化



AI顧客獲得

- **AI顧客獲得のハードル**
グローバルのトップAI顧客は、長期的なサポートと、高水準の技術信頼性を求めている、競争優位性としてのハードルを形成
- **高水準の信頼できるデリバリー**
複雑かつ多様に変化する顧客の要求に対して、成果を上げた



データセンター（電力確保）

- **インフラの制約となる電力供給確保**
MWレベルの電力供給は、世界的にAI計算能力の拡大を制限する主なボトルネック
- **国内外で電力確保**
国内で30MW、オーストラリアで160MWを段階的に確保。今年度内には60MWの利用が可能と想定、約30,000個のGPU運用可能



GPUの確保

- **最先端GPUの大量確保**
NVIDIAのアロケーション確保は、大規模クラスター構築の制約となっており、供給サイド主導の障壁となっている
- **大規模クラスターの提供能力**
パートナーとの連携により、5,000個のGPUを確保済み。追加で10,000個のGPUの追加調達を近日発表予定



設備投資

- **多額の設備投資**
大規模なGPUクラスターやデータセンターの構築には、巨額の初期投資と長期間の資本コミットメントが必要
- **事業拡大に向けた資本の強化**
最近の株式による資金調達は、GPUの取得を加速し、今後の大規模プロジェクトの資金を確保

当初3年の契約期間

追加2年+

契約

インフラ構築
GPU確保
インストレーション

GPUaaS提供

追加期間

Up-front payment
(Prepayment, Deposit
or set-up fee)

Monthly Payment

Initial infrastructure
Payment

Monthly Cost

Final infrastructure
payment

インフロー アウトフロー

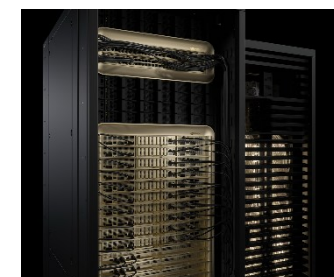
Month 1

Month 2 & 3

Month 4-39



複数年契約



資産価値回収

GPUクラスターのプロジェクション（5,000個のB200）

- NVIDIA B200 GPU deployments
- 3年間で約600億円の利用契約金額
- GPU購入（272億ドル=約420億円）
- 契約期間：3年間契約+2年間の延長
- 3年後のGPU残存価値： ~30%
- 高い利益率

約200億円

ARR

~80%

Expected Project
EBITDA Margin

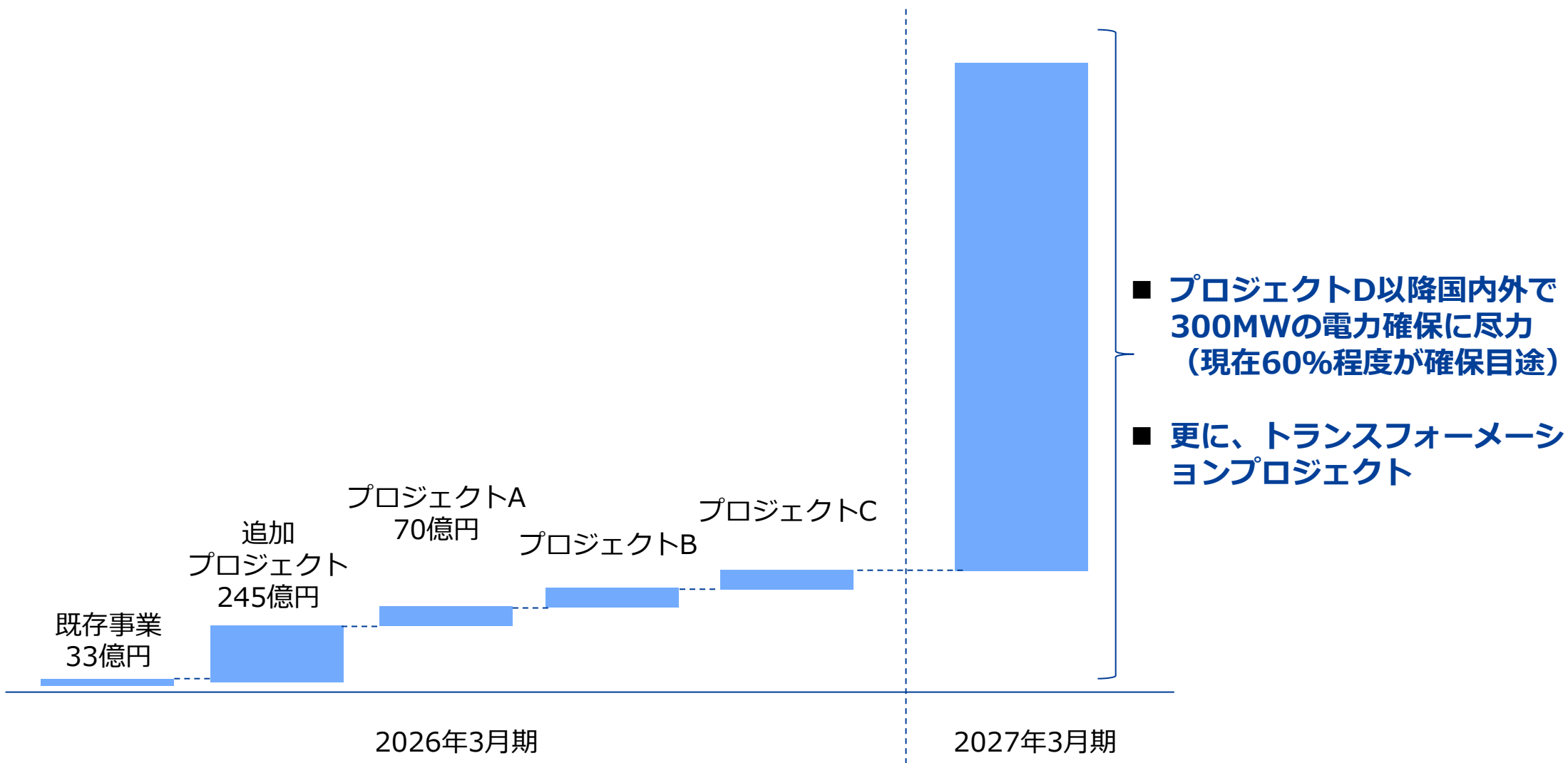


- ・世界的にGPUへの需要が高まる環境下において、GPU獲得競争は一段と激化している。一方で、日本企業は、GPU獲得競争において後れを取り、国内AIインフラ構築は、未だ期待された成果を見せていない
- ・当社は、日本企業として唯一、大規模AIクラスターの構築を進めており、GPUの大量確保、電力供給の確保、顧客の確保をグローバルで進めている
- ・当社は、いわゆる“ネオ・クラウド”企業として、アジア・パシフィックにおいて圧倒的な地位をすでに確立。着実にプロジェクトのエクセキューションを進める
- ・今期及び来期内のプロジェクト・パイプラインとして、B200/300及びGB200/300の導入を進めるが、AIインフラを構成する様々な要因から、大規模クラスターの構築を実現できる日本企業は現在当社を含め限定的（サプライヤーとのパートナーシップ戦略により、GPU調達力は、国内企業としては圧倒的）
- ・大規模クラスターの運用を可能とする「TAIZA」が、業界での優位性を更にけん引。「TAIZA」はグローバル顧客によるテストを経て、高い評価を受けている

特殊な地政学的環境下において、日本で世界規模のAIインフラを構築することで、デジタル赤字を改善し、あらゆるセクターでの経済成長を後押しする

- ・ 2025年9月よりAIデータセンター事業の売上計上を開始（9月途中からGPUクラスターを順次追加し、9月は約3億2千万円の売上を計上）
- ・ GPUの運用が本格的に開始され、2025年10月は単月でAIデータセンター事業において約40億円の売上を計上
- ・ 10月までの売上累計は、今期業績予想の月次ベースの想定を上回る数値
- ・ 11月以降も段階的にGPUの運用数は増加予定。今年度中に20,000個以上を想定
- ・ 顧客からの需要を受け、国内外で電力供給確保を加速（DCサイト契約を締結）
- ・ 今後、B200に加え、B300、GB200/300の大規模導入を進め、AIスーパークラスターの構築を目指す（以下、2025年及び2026年のプロジェクト）
以下、プロジェクトA及びBは受注済み案件、プロジェクトC以降は見込案件
 - プロジェクトA： B200 5,000個、日本（今期予測に含む）
 - プロジェクトB： B200/300 10,000個、オーストラリア（30,000個まで段階的に拡大）
 - プロジェクトC： B300 5,000個、場所は調整中
 - プロジェクトD： GB200/300 70,000個（1,000ラック規模）
 - プロジェクトE： GB200/300 100,000個（1,500ラック規模）
 - プロジェクトF： B300 30,000個、場所は調整中
 - プロジェクトG： B200 5,000個、日本
 - プロジェクトH： B200 5,000個、日本
 - 他

GPUクラスターの積み上げによる売上のマイルストーン

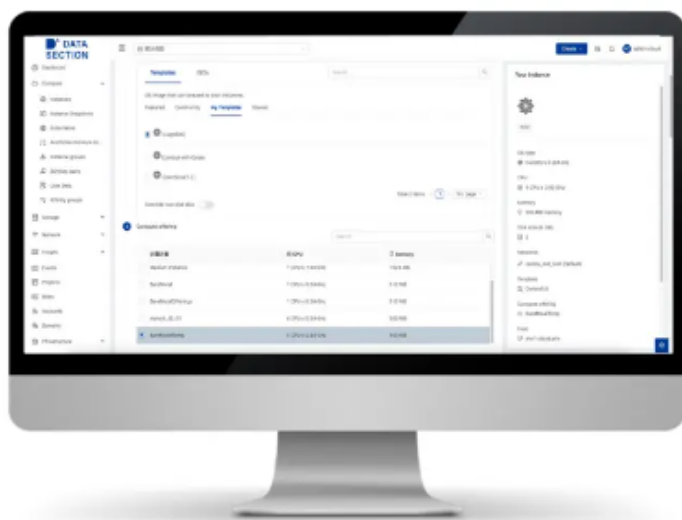


- ・ 2025年11月30日時点でTAIZAが運用するGPUは7,820個
- ・ プロジェクト進捗に応じて順次増加。年度内に20,000個以上を予定

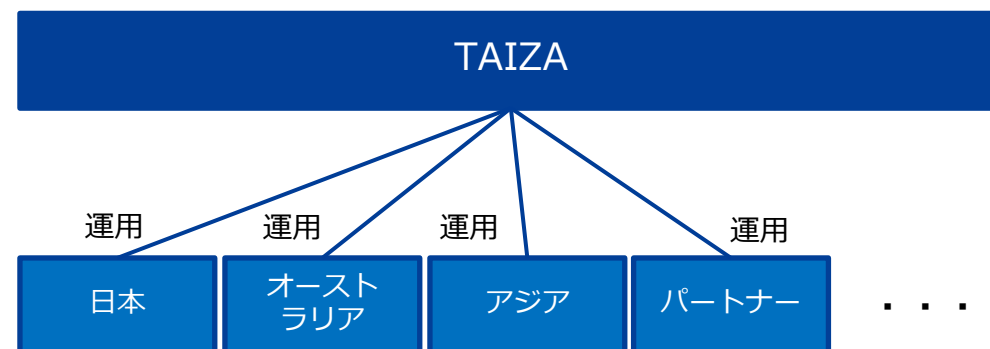
TAIZAが運用するGPU

7,820 GPU

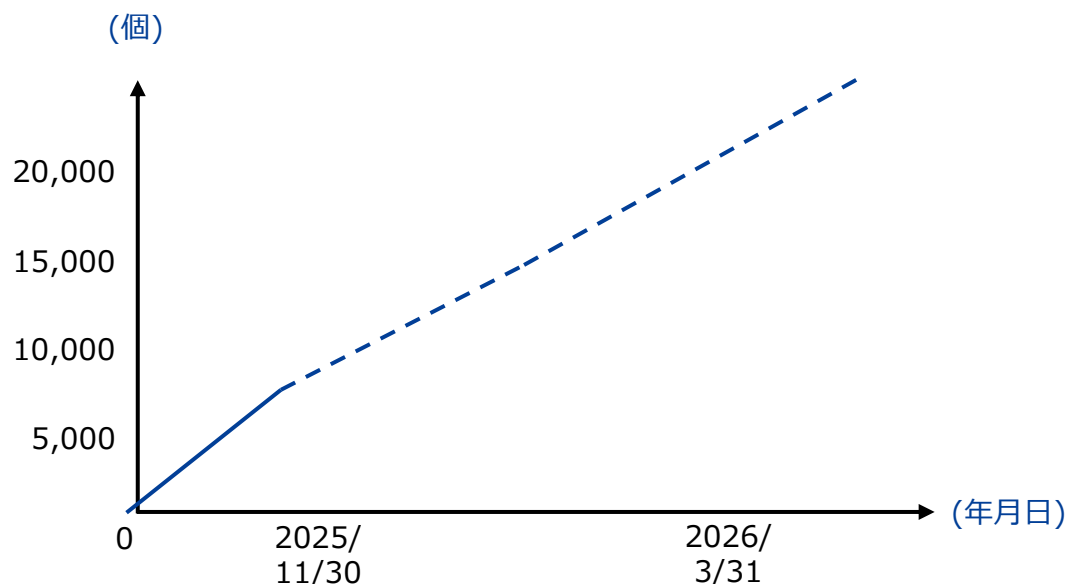
(2025年11月30日現在)



データセクションクラウドスタック「TAIZA」が現在、運用しているGPUの数を表示しています。運用数に応じて、定期的に更新します。



TAIZA運用GPU数推移



データセクション株式会社

ir@datasection.co.jp
050-3649-4858

〒141-0031

東京都品川区西五反田 1 丁目 3 - 8 五反田PLACE 8階

<https://www.datasection.co.jp>

注意事項

- 本資料は投資家の参考に資するため、当社の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。
- 当資料に記載された内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した見通しで、リスクや不確実性を含んでおり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。従いまして、これらの業績予想のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。